

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

次世代海洋エンジニア会 第4回交流会を実施
- 事業アイデアのブラッシュアップを実施 -

今般、当会会員企業における若手技術者の人材育成の一環として、「次世代海洋エンジニア会 (NGMEA : Next Generation Marine Engineer Association)」の第4回交流会を、2月16日~17日の1泊2日にわたり実施した。本事業では、同一メンバー参加の下、2年間にわたり計5回の交流会を行うこととしている。第4回交流会参加者数は、総勢37社48名(うち、船用企業29社38名、船社4社4名、造船所4社6名)。

本事業は、平成30年10月に当会技術開発戦略検討委員会で取り纏めた「今後の技術開発事業のあり方」において、今後の船用工業を支える若手技術者職員の、①技術者としての能力向上・育成、②海事クラスター内の技術者の交流・ネットワーキングの構築、③異分野の技術者との交流を通じた意識改革、④異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の創出が必要とされたことを受けて、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築く機会を提供することを目的としている。

第4回交流会は、現下の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、参加者に事前のPCR検査を求めるなど感染予防対策を徹底し、対面での合宿形式で研修を実施するとともに、第3回交流会で実施したアイデアソンによるアイデアを基にした事業立案を行った。

1日目は、技術者の能力向上・育成の一環として、(株)インソースによる「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、聞き手を惹きつけるプレゼンテーションの手法を学ぶとともに、実践ロールプレイングを行った。その後、BBQ懇親会を行い、メンバー間の交流促進を図った。

2日目は、前回交流会で創出したアイデアのブラッシュアップを行い、築いたネットワークを活用しながら海事業界の課題解決に向けた海運・造船・船用業界がWIN-WIN-WINとなる事業立案を行った。第5回の成果報告会では、業界経営者層に対して班ごとに事業案の発表を行う予定としている。

回を重ねるごとに参加者の積極性が増し、それに伴って活発な議論が行われている様子が見て取れ、本交流会を通じて若手技術者の熱量が今後も高まることが期待されている。

1. 実施期間：令和5年2月16日（木）～17日（金）

2. 研修場所：L stay & grow 晴海

3. 参加者：37社48名（50音順）

(株)赤阪鐵工所、イーグル工業(株)、今治造船(株)、(株)宇津木計器、(株)MTI、(株)カシワテック、(株)京泉工業、(株)ササクラ、(株)サンフレム、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、(株)商船三井、第一中央汽船(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、高階救命器具(株)、田湊海運(株)、(株)帝国機械製作所、東京計器(株)、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、日本シッパード(株)、日本郵船(株)、バルチラジャパン(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、(株)日立ニコトランスミッション、(株)福井製作所、富士貿易(株)、古野電気(株)、兵神機械工業(株)、三浦工業(株)、三井E&S造船(株)、三菱重エマリンマシナリ(株)、三菱造船(株)、山科精器(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)

(船社には実線、造船には破線のアンダーラインを付した。)



オープニング風景



BBQ 懇親会



2次会風景



グループワーク

(事務局問合せ先)

技術部 三田村 TEL：03-3502-2041

以上